

フィリピンの新年度は6月から!

新年度に向けて、学用品支援のキャンペーンを行っています。
学びのチャンスを与えてください。



フィリピンの新年度は、6月からスタートします。それに併せて、フィリピンの子どもたちのための学用品支援のキャンペーンを行っています。ご支援いただいている子どもさんに、そして、ご支援以外の子どもさんにもチャンスが与えられるようよろしくお願いいたします。

フィリピンでは、5歳の就学前教育からスタートし、1年生から6年生になるまでが義務教育期間で、授業料は無料です。しかし、制服、カバン、学用品やお昼ご飯代など、日本と同じように学校に通うためには、多くのお金が必要になります。本当に困窮している親もいますが、日々の食事のことしか考えられずに、計画的にお金を貯めることができず、子どもにも学校に行くより働くことを要求する親もいます。

子どもには生まれる場所も親も選ぶことはできません。そして、大きなスラム地区で、そのような人ばかりを見ていると、子どもたちも、それが普通のことだと思ってしまう。そのような考え方から脱却させるのに、メトロのスタッフたちは、大変な労力と犠牲を払っています。

スラム地区での生活が普通だと思い込んでいる子どもたちに、自分の夢を持つことができる、勉強すればその可能性があるということを教えるために、2年間もかかることは特別ではありません。ご支援をいただければ、メトロのスタッフが親を励まし、子どもには別の人生を歩ませることができる、そのために学校に通わせましょう、と説得するために大きな力となります。誰かの人生を変えることができるという素晴らしいチャンスのために、どうぞ祈りとご支援をお願いいたします。



今年は特別な年です

ビル師の働きによって、約50年間、世界中の子どもたちが助けられてきました。今年はビル先生の献身50周年であり、また、70歳の誕生日を迎える年でもあります。これだけの歴史があるからこそ、他の団体とは違う特別な働きができるのです！ビル先生の働きを祝うイベントなどを掲載していきますので、今後のメトロレポートにご注目ください。しかしこれも、皆様のパートナーシップの力ゆえだと感謝しています。世界中の子どもたちにとって、あなたの助けこそが重要なのです！

イースターバスケット!

メ切は3月10日。まだ間に合います!

フィリピンの学用品支援!

お申込書をご覧の上、
4月25日までにお申し込みください。

今月号の目次

- P2...アメリカ社会とメトロの子どもの現状について
- P3...子どもたちの実情と手紙/ビル師からのメッセージ
- P4...日本事務所からの最新情報/連絡先など基本情報

メトロの各国での働きについて

メトロ・ワールド・チャイルドの働きは、ビル・ウィルソン師によって、アメリカのブルックリンのスラム街で始められ、今では、世界各地で働きを展開しています。子どもたちが、イエス・キリストの福音と聖書の教えに触れることができるようにと、あらゆる方法で教会学校を展開し、必要な支援をしています。

どこの国も巨大なスラム街があり、多くの子どもたちが埋もれるように住んでいます。そしてメトロのスタッフは、その地域の子どもたちが出会う数少ない、良いことを教える人なのです。現在日本から支援をしている国について、今回からその一端をご紹介します。



ビル先生のバスを見つけ、子どもの頃にお世話になったとお礼を伝えに来た男性

アメリカの状況とメトロの意義

アメリカ社会の現状について

世界一豊かな国アメリカでも貧困は深刻な問題です。あらゆる部分で格差は広がり、貧困への対策とその地域の犯罪率の高さは、社会全体を脅かす頭の痛い問題となっています。

貧困層の人々の考え方や文化が次世代へ伝わることにより、離婚率上昇やシングルマザーの増大、思慮のなさからの望まぬ妊娠、出産をした結果の育児放棄、新しい恋人による子どもたちの虐待等々、負の連鎖は続きます。日本でも毎日、耳にするようになってきた問題です。

政府は貧困層に対して、いろいろと手を尽くしています。貧困層のためのアパートの建ち並ぶ、巨大なスラム地区もそのひとつです。しかし、衣食住がある程度確保されていても、その中で生まれ育つ子どもたちにとっての問題の根は、別のところにあります。



一見環境の良さそうな地区に建つ巨大なビル群は、全て貧困層のために準備された公営住宅。男性が、あちこちに座り込んで、危険な雰囲気の中を、スタッフは訪問し続けます。

子どもたちの現状について

子どもたちが日々目にするのは、犯罪者や麻薬の売人、学校にも行かずきちんと働かない人々、ギャングの手下、目先の欲望を満たすことしか考えない生活やお金の使い方をする人々です。家庭が貧しければ、習いごとをするチャンスは減るかもしれません。しかし、もっと深刻な問題は、元々親たちに思慮が欠けていて、欲望をコントロールできないため、自分のことしか関心がなく、子どもに無関心で育児をする気がないこと。お金は自分のために使ってしまう、子どもの教育のことなど考えていないこと。シングルマザーや移民が多く、学歴や経験がないため賃金の低い仕事に就いていて、子育てに余裕がないことなどです。

どのような親でも、子どもにとっては、たったひとりの親です。親からの愛情を求め、親のすることは正しいと思ってしまいます。ひどい仕打ちをされても、生まれてからずっとその環境にいれば、子どもには特別なことではありません。

問題の解決策はどこにあるか

これらの問題の最も良い解決方法のひとつが、メトロの働きと言えます。

アメリカとイギリスの40年に亘る大規模な共同研究の結果では、就学前、または10歳までの子どもにきちんとしつけをしたかどうか、大人になってからの犯罪率、離婚率、生涯賃金その他に大きな違いを生むと報告されています。

スラムの子どもたちを相手に、教会学校でイエスの救いと愛を伝え、家庭訪問を通じてひとりひとりに愛をもって接するメトロスタッフの労を惜しまぬ活動は、確実に子どもたちに良い影響を与え、彼らの将来を変え続けています。

あなたにもその一端を担っていただければ感謝です。毎日その子と家族のためにお祈りください。誕生カードを書き、できる範囲で構いませんので、プレゼントを贈ってください。自分が誰かに覚えられているということを知ることが、そのような子どもたちにどれほどの喜びを与えるかを覚えていただきたいのです。



貧困地区に向いて、道端教会学校を開催。1チームで、毎週約1,000名の子どもたちに福音を伝え、数百件の訪問をする

ご支援の意義と価値について

あなたがどんなに良くしてあげても子どもたちの親は感謝しないかもしれません。そのような親が多いのは事実ですし、だからこそ支援が必要なのです。しかし、子どもは違います。きっと一生忘れることはありません。あなたの祈りは神に聞かれ、子どもたちもスタッフも力をいただきます。決して変わりそうにない親の心も変わるでしょう。

日本は、あらゆる負の部分も含め、確実にアメリカの後を追いつけているのです。そして、この働きを支援することは、アメリカのスラム街の子どもを毎週2万人以上助けているということにとどまらず、アメリカの後を追う日本の今後を変えるヒントを得られるのです。

傷ついた子どもたちに救いの手を

傷ついた子どもたちを助けられるのは、そばにいるから

日曜学校が終わり、子どもたちを自宅へ送り届けていたビル先生は、ルイスの家の前でバスを止めました。しかしドアが開



いてもルイスは降りようとしません。じっと床の一点を見つめ、固まっているのです。

「どうしたんだい、ルイス。お家だよ。」ビル先生が声をかけても頑として動かず、口も開きません。ただならぬ様子を感じたビル先生が「じゃ、一緒にバスを降りてお家まで行こうか」と聞くと、ルイスはようやくうなずきました。そこでビル先生はルイスの手をしっかりと握ってアパートの入り口へ向かったのですが、建物の中に入った瞬間、ルイスはビル先生の手を力いっぱい握りしめたのです…まるでそれが命綱でもあるかのように。「ぼく、帰りたくない…」

「どうして？」ビル先生の問いに、ルイスはTシャツをまくり上げました。そこに見えたのは「ルイス」の文字…小さな男の子のお腹に、その皮膚に、文字が生々しく刻まれていたのです。ルイスが言うには、母親の恋人の仕業だということでした。

苦しんでいる子どもがいるなら、それがどこであれその子を救う。これはメトロの働きのひとつです。苦しみの原因が空腹であれ虐待であれ、困った時には何をしても彼らを救うことに全力を挙げます。ルイスは幸い、ビル先生がその悲惨な環境から救い出すことができました。しかし他の子はどうでしょう？ どうか、傷ついた子どもたちを一人でも多く救い出せるよう、ご支援をお願いします。

あなたの思いやりは
メトロの子どもたちの
心に
一生続く影響を与え
ます

次の手紙は、日曜学校に来ている男の子がビル先生に宛てたものです。ご支援とお祈りのお陰で、イエス様を知るはずのなかった子どももこうしてメトロの日曜学校への参加がかなっているのです。

「日ようがっこうは、たのしいです。まいにち 日ようがっこうがあつたらいいのに。いろいろ おしえてもらってぼくは いい子になりました。けんかも しなくなりました。まえより ずっとハッピーです。ビルせんせい、ありがとう。」



ビル師からのメッセージ

わたしの羊を飼いなさい

ヨハネの福音書で、イエスはシモン・ペテロに言われました。「あなたは、わたしを愛しますか」。ペテロはイエスに言います。「はい」。そこでイエスは彼に言われました。「わたしの小羊を飼いなさい」。再び同じやりとりの後、イエスは言われました。「わたしの羊を牧しなさい」。そして三度同じやりとりが繰り返され、イエスは言われました。「わたしの羊を飼いなさい」。

最初にイエスは言われました。「わたしの小羊を飼いなさい。」『小羊』とは子どもたちのことです。「あなたがわたしを愛するなら、子どもたちに食べさせてやるはずだ」というのです。次は『羊』という言葉が使われています。これは、子どもよりは大きいものの、大人になりきれていない若者を表します。イエスはむやみに同じ言葉を3度繰り返したわけではないのです。まず、わたしを愛するなら子どもに食べさせてやりなさい…次に、わたしを愛するなら若者に食べさせてやりなさい…そして最後に、わたしを愛するなら大人に食べさせてやりなさい、と言われるのです。3種類の人々が、食べさせてもらわなければならないと言っています。

ここで神様がおっしゃるのは食べ物自体のことではありません。子どもたちには、福音に触れさせてやりなさいと言われているのです。

しかしメトロにおいて、子どもに食べ物を与えることと福音を伝えることは切り離せません。私たちはイエスを愛していますから、従うために全力で子どもたちを助けます。これがメトロの活動の大前提です。ホットドッグでもピザでもハンバーガーでも、とにかく子どもは食べなければなりません…神様を熱心に求められるように。

あなたが続けてご支援くださっているお陰で私たちは、ニューヨーク、フィリピン、ルーマニア、ケニア、南アフリカ、インド、ペルーといった国々の子どもたちに福音を伝えることができるだけでなく、肝心な場面で貴重な食べ物を与えることができるのです。強い信仰の人々を育てていくためにこの世代の人々に必要な栄養を与える働きができるのもご支援のお陰です。神様の羊を飼ってください、感謝します。

心を込めて

ビル・ウィルソン

日本事務所からのお知らせとお願い

里親募集中です！

メトロ・ワールド・チャイルドでは、常時、新しい子どもの里親を募集しています。

多くの方々にご支援をいただいておりますが、メトロ・ワールド・チャイルドの働きは、急激に拡大を続けています。

メトロの教会学校に熱心に通ってくる子どもだけを対象としていますが、サポートの必要な子どもたちもどんどん増え続けています。

身近な方々で子ども支援に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

ご検討いただくために必要な資料をお送りいたします。

フィリピンスタッフ来日 現地報告会開催！

メトロ・フィリピンスタッフのハンナさんが来日します。

ハンナさんは、現地で日々働きをし、スタッフの研修も行っております。日本育ちのアメリカ人ですので、皆様に現地での活動を日本語でご報告すると共に、皆様からのご質問にも日本語でお答えすることができます。

日程は6月3日～17日までで、10名以上お集まりいただける場合は、日程を調節してできる限りお応えできるようにいたしますので、ご希望の日時と場所をお知らせください。

会場のご準備は、皆様でお願いします。

ビル・ウィルソン師 日本セミナー開催！

すでにお知らせしましたとおり、ビル・ウィルソン師が6月末から7月9日の日程で来日予定です。

教会、その他の会場での開催をご希望の場合は、日程を調整しなくてはなりませんので、できるだけ早くご連絡ください。

ブルックリンのスラム街で、無謀とも思える働きを始め、40年足らずで世界規模の働きにまで成長できた信仰の秘訣は、全ての人々の人生の歩みに大きなヒントを与えます。

ぜひご自分の地域での開催の実現のために、ご協力ください。

日本事務所よりごあいさつ！

ビル先生は、すでに今年の世界ツアーを始めています。そして今は、東南アジアの支援者と共にフィリピンに出かけ、現地のスタッフと共に活動をしています。その前後に、各地の教会でのセミナーをするという、相変わらずのハードスケジュールです。お祈りによるご支援をお願いいたします。

また、トップページにも記事がありますが、今年はビル先生にとって記念すべき年ですので、日本ツアーでも、昨年以上に多くの方々にご参加いただきたいと願っています。開催地と日程がまだ決まっていませんが、6月末から7月中旬までですので、必ずご参加ください。

皆様の変わらぬご支援に心から感謝し、主の豊かな祝福と恵みがありますようお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン